

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会
(ふくしま駅伝)

伊達市チーム 主将
児島 源二郎 さん (保原地域)

11月16日に行われた「第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」。伊達市チームは前年を上回るタイムを記録し、伊達市初の区間賞も獲得しました。そんな伊達市チームの主将を務めた児島源二郎さんが、来年の大会に向けて目指すものとは…

こじまげんだい
児島源大さん (弟)

こじまげんじろう
児島源二郎さん (兄)



Profile ●こじま げんじろう

平成20年生まれ。福島成蹊高校3年生。中学1年生からふくしま駅伝伊達市チームに所属し、中学2年生から代表選手として大会で走りはじめる。第37回大会では初めて主将およびアンカーを任せられ、多くのライバルに遅れをとらず、総合順位を押し上げる力走を見せた。



個人的には、自分が思っていたような結果は残せませんでし
たが、それでも念願のアンカー
を任せていたいたことがうれ
しく、楽しんで走ることができ
たので満足しています。今大会
で区間賞を獲得した佐藤柊斗君
をはじめ、タスキをつないでく
れました。その経験もあり、今でも総合格闘技の試合を
見るのが好きです！体力が無く
て全然走れなかつた僕が、楽し
いと思えるくらい走れるようにな
つたのは、きっと空手のおか
げかもしれませんね。

僕が陸上を始めたのは中学1
年生からです。小学6年生のと
きに行われた市の記録大会で、
自分が想像している以上に速く
走ることができ、「走るのって
楽しいな」と思ったことがきっ
かけでした。それまでの僕は陸
上とは無縁で、小学2年生か
ら中学2年生までずっと空手を
習っていました。その経験もあり、
今でも総合格闘技の試合を

見るのが好きです！体力が無く
て全然走れなかつた僕が、楽し
いと思えるくらい走れるようにな
つたのは、きっと空手のおか
げかもしれませんね。

僕が陸上を始めたのは中学1
年生からです。小学6年生のと
きに行われた市の記録大会で、
自分が想像している以上に速く
走ることができ、「走るのって
楽しいな」と思ったことがきっ
かけでした。それまでの僕は陸
上とは無縁で、小学2年生か
ら中学2年生までずっと空手を
習っていました。その経験もあり、
今でも総合格闘技の試合を

幼い頃は全然走れなくて…

大会を振り返って

て、来年は弟の源大と兄弟揃つ
てふくしま駅伝を走り、共に個
人としてもチームとしても納得
のいく結果を出せるよう、練習
を継続していきたいと思います。

たくさん人の支えに感謝



●ふくしま駅伝伊達市チーム

白河市から福島県庁までの
96.3キロメートルを16人でつ
なぐ、伊達市を代表する走りの
エキスパート。令和6年の大会
では敢闘賞、令和7年の大会では
区間賞を獲得。11月の大会を
終えたばかりだが、次回大会に
向けて12月から練習を再開し
ている。

来年の大会では敢闘賞を獲得
できるよう、チーム一丸となっ
て練習していきます。僕は、高
校卒業により来年から環境が
変わりますが、それでも伊達市
チームとしてまた皆さんと走れ
るよう努力していきます。そし

の走りを、想像もできないくらい
に伸ばしてくれました。そして、
いつも応援してくれる家族や市民
の皆さんのがいるからこそ走ること
ができます。支えてくれるたくさ
んの人に、心から感謝しています。